

平成20年第4回定例市議会

*
*
* 教 育 行 政 報 告 *
*
*

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるにあたり、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要をご報告申し上げます。

学校教育について

はじめに、学校教育について申し上げます。

教育振興推進交付金事業の主なものについて申し上げます。

恵庭市では、毎年小・中学校各1校を指定し、3年間の準備期間を経て教育実践の推進と教職員の資質向上を図ることを目的として、その研究成果を発表する「公開研究発表会」を実施しております。

今年度は、11月4日に恵み野中学校で「わかる授業の創造～伝える・表現する力の育成をとおして」を研究主題に、恵庭市内の小・中学校教職員を対象に公開授業並びに全体会・分科会を開催し、それぞれ研究の成果を発表いたしました。

また、11月28日には恵み野旭小学校で「互いに認め合い、生き生きと活動する子どもの育成」を研究主題として開催をいたしました。

学校におけるこれらの公開研究発表会は、市内各学校における教育水準の向上に大きく貢献できるものと評価をしているところであります。

キャリア教育の実践について

キャリア教育の実践について申し上げます。

この事業は、生徒の職場体験を通して主体的に進路を選択・決定できる生徒の育成を図るとともに、社会での礼儀やマナーを身に付けることをねらいとして実施しているものであります。

昨年度は文部科学省の指定を受け、柏陽中学校の2年生110人が10月中の5日間、職場体験学習を実施したところではありますが、本年度につきましても、同様に2年生108名が、10月27日から29日までの3日間、市内の事業所で職場体験学習を実施いたしました。

生徒たちは、市内の企業や福祉施設、幼稚園、保育園、物販店、学校、公共機関等、市内29カ所の事業所において職場体験に取り組み、成果を

あげたところであります。

他の4中学校では毎年、総合的学習の取り組みとして、主に3年生が1日間の職場体験を実施しております。

なお、今後は生徒たちが職場体験で学んだことのレポート作成を始め、今回の学習で得た貴重な体験を将来の進路設計の糧として生かしていくことを期待するものであります。

学校教育施設等の
整備について

学校教育施設等の整備について申し上げます。

今年度より3ヵ年計画で行っている若草小学校の大規模改造事業1期工事につきましては、順調に施行が進み、計画されていた内部改修と外部改修及びエレベーター設置等の改修工事が11月末で完了したところであります。

次に、補正予算関係であります。国の平成20年度補正予算が10月16日に国会で成立し、その中に、学校施設の耐震化加速の取り組みを支援するために必要な予算措置が盛り込まれました。

このことを受け、文部科学大臣が「緊急総合対策を踏まえた学校耐震化加速に関するお願い」を発表し、子どもたちの安全を確保するため、大規模地震により倒壊等の危険性の高い学校施設について、早期に耐震化の推進を図ることになりました。

当市といたしましても、昭和56年以前に建設された学校で現在、まだ耐震診断(2次診断)を実施していない9校28棟の内、3校11棟について耐震診断を前倒しして実施することとし、早期に耐震補強工事計画を策定して耐震化完了の目標年度を早めるため別途補正予算を計上させていただいておりますので、特段のご理解とご高配を賜り、ご審議くださいますようお願い申し上げます。

学校給食と食育の
推進について

学校給食と食育の推進について申し上げます。

学校給食につきましては、事故米穀の食用への転用、メラミン混入や産地偽装など、食の安全の問題が多く発生しており、使用する食材の原材料の産地の確認を徹底するなど、安全・安心な学校給食の提供に努めて参ります。

また、食育の推進につきましては、9月14日に開催されました「食と健康まつり」で学校給食展を実施するとともに、小・中学校の2学期制に伴う秋休みの10月10日に北海道文教大学と合同で小・中学生と親を対象に料理教室を開催し、95名の参加者が秋の食材を使って料理を行いました。

これらを通して食をより深く考える契機にさせていただくことを期待しているところであります。

次に、社会教育事業の推進について申し上げます。

家庭教育事業の推
進について

家庭教育事業の推進について申し上げます。

5月から市内4会場で幼児の親子74組が参加し、活動して参りました仲よし子ども館は、10月28日の閉館のつどいを最後に、遊びを通して親子の触れ合い活動等全20回のプログラムを無事終了いたしました。

閉館後も参加した親子の有志が引き続き子育てサークルとして、自主的な活動を行っているところであります。

文化功労者等表彰
について

文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・スポーツ功労者・青少年表彰は、11月3日に合同表彰式を実施し、文化功労者に4個人、スポーツ功労者に18個人・5団体、青少年表彰に3個人・4団体の方々を顕彰させていただいたところであります。

受賞された皆様方には、それぞれの分野で今後ともご活躍されますこと

を期待しているところであります。

文化振興事業について

文化振興事業について申し上げます。

えにわ市民文化祭は、市民講座及び公民館サークルと恵庭市文化協会との共催により、展示発表を市民会館・夢創館を会場に10月10日から3日間開催するとともに、舞台発表は市民会館大ホールを会場に10月19日と25日の2日間にわたって開催し、約5,500人の市民の方々が参加されました。

また、島松公民館では、11月1日から3日間展示発表を行い、11月3日には舞台発表を「島松公民館まつり」と同時開催し、約2,500人の市民の方々が参加されたところであります。

すこやかプランの推進について

すこやかプランの推進について申し上げます。

すこやかプランは、「あいさつ」「花の輪」「ボランティア」をキーワードに、大人として、個人や団体そして「まち」全体で子どもたちのために何ができるかを考え、子どもが健やかに育つための環境づくりのため、できることから行動するものであります。

今年度も、より一層すこやかプラン運動を進めるため、11月にキーワードに関わる活動に取り組んでいる団体へすこやかプラン推進協議会として「かつてに表彰」を市内4団体の皆様のところへ赴き表彰したところであります。

今後とも、市民の皆様と協働しながら、すこやかプランの推進に努めて参る考えであります。

夢創館について

夢創館について申し上げます。

市民の文化活動の拠点であります夢創館は、恵庭文化村協議会が道央農業協同組合から施設を借り受け、北海道と恵庭市の補助を受け施設改修を

行い、平成11年に開設以来、小ホールとしての特長を生かして、演劇の練習及び上演、絵画などの展示、音楽演奏会などが行われてきました。

このたび、施設の借り上げから10年が経過したこと、さらには恵庭の歴史を物語る軟石建築物の保存と文化活動の拠点となっていることから、将来の永続的な開設に向け、道央農業協同組合の理解を賜りながら次年度において土地及び建物の取得に向け取り組んで参りたいと考えております。

市民のスポーツ・レクリエーションの振興について

市民のスポーツ・レクリエーションの振興について申し上げます。

はじめに、9月28日に、昨年に引き続き世代間の交流や親睦を一層深める事業として“08えにわスポーツフェスティバル”が総合体育館周辺において開催され、スポーツ・レクリエーション全17種目、延べ1,973名の参加を得て、さらに社会教育関係団体の出店協力で盛況の中終了したところであります。

次に、9月26日から大分県で開催されました第63回国民体育大会において、北海道ハイテクアスリートクラブの寺田明日香選手が、成年女子100mハードルにおいて優勝し、併せてジュニア日本新記録を樹立し、今後の活躍が大いに期待されるところであります。

次に、11月3日に、本年にスポーツ競技において優秀な成績を収めた方々、北京オリンピック出場者の福島千里選手をはじめとする7個人・5団体、またスポーツ振興に長年にわたり尽力された榎本^{たかし}尚司様をはじめとする11個人に対しまして、スポーツ功労者表彰を授与させていただいたところであります。

体育施設の料金改正及び学校開放施設の有料化について

体育施設の料金改正及び学校開放施設の有料化について申し上げます。

このことは市の財政健全化検討メニューにも掲げられており、平成19年10月に公募による市民、市内高校や大学、社会福祉協議会、老人クラブ、関係機関や利用団体、町内会連合会などの代表者23名からなる「体

育施設使用料金改正検討委員会」を設置し、体育施設の使用料金の受益者負担の基本的な考え方について、5回にわたり検討を重ねて参りました。

検討された結果につきましては、平成20年5月29日に「体育施設使用料の改正に関する提言書」として提出いただき、その提言に基づき検討して参りました。

また、学校開放施設の有料化につきましても、各学校利用者の代表13名を選出していただき、管理のあり方や有料化について検討していただいたところであります。

体育施設使用料及び学校開放施設の有料化につきましては、現下の市財政状況等を勘案し結果として市民の皆様には負担を求めざるを得ない状況ではありますが、継続的な施設の管理や安定的な施策の推進をするうえで必要なことと考えており、今議会に「恵庭市体育施設条例」の一部改正並びに「恵庭市立学校施設の開放に関する条例」の制定につきましてご提案させていただきますようお願い申し上げます。

学校図書館について

学校図書館について申し上げます。

小中学校図書館の利用状況についてであります。4月から10月までの貸出冊数は、小学校合計で141,902冊となっており、昨年度同期に比べ1.39倍、中学校では16,127冊で1.43倍といずれも増加しております。

これは、読書月間を迎え、各校で取組まれている読み聞かせスタンプラリーや読み語りの会、学校図書館を活用した授業等が、児童生徒の読書への興味関心を喚起しているものと考えられます。

また、文部科学省の委託事業「読む・調べる習慣の確立に向けた研究事業」の一環として、10月31日に小・中学校の司書教諭と学校司書の合同研修会を開催いたしました。

講師には、学校図書館先進地である千葉縣市川市教育センターの基礎を築かれた小林路子氏をお招きし、今後の学校教育における読書活動の在り方についてご指導いただきました。

市立図書館につい

市立図書館について申し上げます。

て

読み聞かせボランティア団体等で組織された実行委員会主催による「としょかんこどもまつり」を10月11日に開催し、延べ1,037人の子ども達と保護者の参加を得たところであります。

読書コミュニティの推進に鑑み、市内二つの中学校の生徒による読み聞かせをはじめ、小学生、高校生、大学生37名が運営ボランティアとして参加し、事業内容の一層の充実と世代間交流が図られたところであります。

なお、市立図書館を活動拠点とする読み聞かせグループ「おもちゃばこ」が、長年にわたる子どもの読書活動と地域の文化向上に貢献したグループをたたえる北海道読書推進運動協議会主催「2008年度優良読書グループ北海道表彰」を受賞され、去る11月5日に市立図書館において伝達表彰を行ったところであります。

また、このたび市内桜町在住の中村松蔵氏からご自身の百歳を記念し、市立図書館蔵書等の整備に100万円のご寄附をいただきました。

これは、11月1日に施行された「えにわ・花子さん愛情寄附条例」に基づく寄附の第1号であります。

さらに、小樽のNPO法人絵本・児童文学研究センターから、小学校の図書整備のために10万円のご寄附をいただいております。

これは、本市の読書推進に共感されてのものであり、いずれのご厚志も読書のまちづくりへのご理解をいただいたものと深く感謝申し上げる次第であります。

なお、それぞれのご寄附につきましては、別途補正予算を計上させていただいておりますので、特段のご理解とご高配を賜り、ご審議くださいま

すようお願い申し上げます。

郷土資料館事業に
ついて

郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、秋の特別展として、10月4日から10月26日まで、「時を知らせる柱時計展」を開催いたしました。

郷土資料館は、現在、市民の皆様から寄贈をいただきました資料1万7千点ほどを収蔵管理しておりますが、この中から、テーマを設定して資料を選択し、収蔵資料展として企画展をしております。

「時を知らせる柱時計展」では、明治末期から昭和20年代にかけて、市内で使われた28点の柱時計を、収蔵資料展として初公開し、恵庭の時代風俗の移り変わりを見ていただきました。

郷土資料館は、常設展示に加え、定期的に特別展を開催し、資料館事業の充実と市民の皆さんへの利用促進を図っております。

今後も、収蔵資料を活用し、新しい視点で恵庭の歴史・文化を学ぶことができる機会の提供をして参りたいと考えております。

以上、はなはだ簡単であります第3回定例会以降における教育行政執行に関わる主なものについて、その概要をご報告申し上げます。

なお、今議会に提案している議案等につきましては、それぞれ上程の都度ご説明を申し上げますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。